

「津山市観光振興議員連盟」設立総会を開催

8月27日（月）に、議員全員で構成する「津山市観光振興議員連盟」の設立総会を開催しました。

総会では、津山の観光振興に向けた調査研究や観光資源発掘のほか、行政や観光協会などが行う関連イベントへの支援を行うことなどを決定しました。今後の活動内容については、役員会を開いて決めていく予定です。

会長に森岡和雄、副会長に久永良一、理事に小椋多、木下健二、津本憲一、中島完一、原行則、村田隆男を選出しました。

第1回議員会議 （議員同士の政策論議） を開催

平成23年6月定例会会で設置された「議会活性化調査特別委員会」では、活性化の一つとして「テーマを決めて、議員同士の政策論議の場を設ける」こととし、第1回議員会議を8月27日（月）に「観光振興について」を議題として開催しました。



最初の議員会議は、身近なテーマで論議

議会活性化調査特別委員会委員長の主催者あいさつ

「議員会議のテーマとしては、議会基本条例、議員のモラル、議会の様子を市民に知っていただく方法など様々な案が考えられるが、今後順次取り組んでいきたい。まずは、比較的議論のしやすい観光という課題を取り上げて意見交換を行いたい。」

議長あいさつ

「議員が一堂に会して、自由に意見を交換し、明日の津山を考えるとすることは大変有意義なことだ。この会議で検討されたことを今後の議員活動に活かしていただきたい。また議員会議を重ねていくことにより、様々な課題に議員全員で活発に意見を出し合って、政策や提言に繋げ、さらには議会活性化に資することができればと考えている。」

議員会議は、2時間にわたり議員間の自由な意見交換をしました。主な意見としては、

- ・ 100万人観光人口をめざす。特に滞在型の観光を推進したい。
 - ・ 歴史ある観光資源の宣伝と、新たな観光資源の発掘を行う。
 - ・ 観光客に、「もう一度来たい」と思ってもらえる「おもてなしの心」が大切。
 - ・ 津山駅周辺を津山の表玄関にふさわしいものにした。
 - ・ 宿泊場所、食事場所、バス駐車場などのインフラ整備、点在する観光地を繋ぐ方法などいろいろな課題がある。
 - ・ フェイスブックなど新しい情報発信の手段の検討が必要。
 - ・ 議会が率先して集客、情報発信の一翼を担うべき。
- など多様な意見が出されました。